

令和 6 年度における
読書活動推進施策について
(報告)

令和 7 年 5 月

秋田県読書活動推進本部

目 次

I	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	第3次基本計画の概要と施策推進状況・・・・・・・・	2
III	読書活動推進のための施策・・・・・・・・	3
1	家庭における読書活動の推進	
	(1) 県立図書館の利用促進に向けた体制の整備・・・・・・・・	3
	(2) 子どもの読書習慣づくり・・・・・・・・	5
	(3) 児童会館での子どもの読書活動の推進・・・・・・・・	6
	(4) 読み聞かせにお薦めの絵本の紹介・・・・・・・・	6
	(5) 生涯学習としての読書活動の奨励・・・・・・・・	6
	(6) 高齢者などへの読書支援・・・・・・・・	7
	(7) 「あきたブックネット」による情報発信・・・・・・・・	7
2	学校における読書活動の推進	
	(1) 幼稚園、保育所、認定こども園等・・・・・・・・	9
	(2) 小学校、中学校、高等学校等・・・・・・・・	9
	(3) 学校図書館・・・・・・・・	12
3	地域・職場における読書活動の推進	
	(1) 市町村・・・・・・・・	14
	(2) 民間団体・・・・・・・・	16
4	関係機関等との協働による読書活動の推進	
	(1) 秋田県読書活動推進連絡協議会の充実・・・・・・・・	18
	(2) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進・・・・・・・・	18
	(3) 大学図書館と県立図書館の連携強化・・・・・・・・	19
	(4) 県内の大学等との連携・・・・・・・・	19
	(5) 外部機関等と連携した図書館利用促進・・・・・・・・	19
	(6) 「県民読書の日」の啓発・・・・・・・・	20
	(7) 「秋田県読書フェスタ」の開催・・・・・・・・	21
	(8) 県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及・・・・・・・・	22
	(9) 高齢者への読書活動推奨・・・・・・・・	22
	(10) 書店団体等と連携した読書活動の推進・・・・・・・・	22
	(11) 雑誌スポンサー制度の充実・・・・・・・・	22
	(12) 読書活動の機運を高めるイベント等の実施・・・・・・・・	23
5	指標・実績一覧・・・・・・・・	25

I はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成22年4月1日から施行している。

また、条例に基づき、平成23年3月に「秋田県読書活動推進基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定し、5年ごとに改定しながら、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

この報告は、条例第4条第2項に基づき、第3次基本計画により令和6年度に実施した施策を県議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

（県民読書活動推進基本計画）

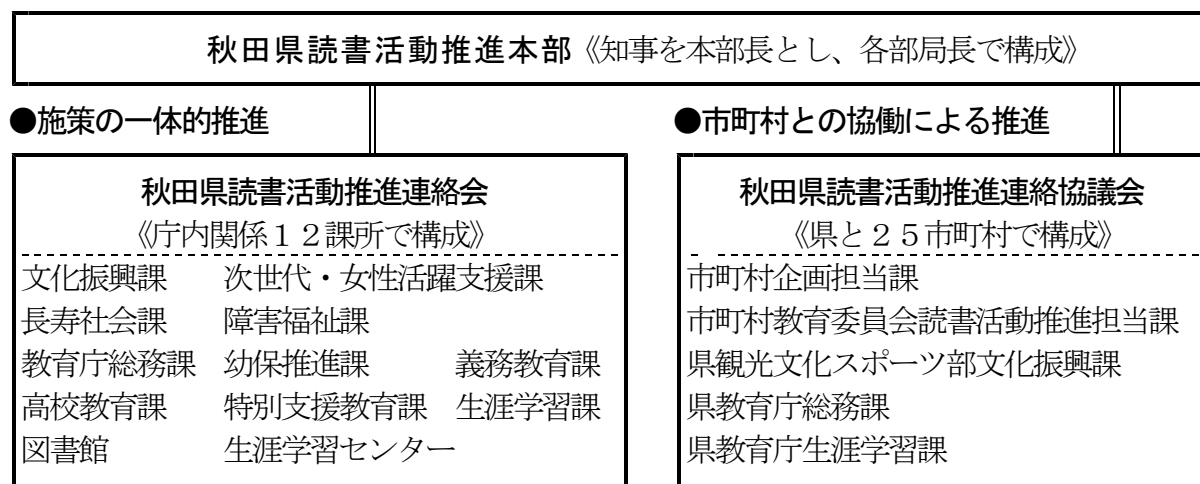
第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。

3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

《 読書活動推進体制 》 令和6年度

●秋田県読書活動推進基本計画の進行管理



◎事務局

秋田県読書活動推進本部

（秋田県観光文化スポーツ部文化振興課読書活動・文化芸術推進チーム）

〒010-8572 秋田市山王三丁目1番1号 TEL:018-860-1530 FAX:018-860-3880

E-mail:bunkashinkouka@pref.akita.lg.jp

*公式ウェブサイト「あきたブックネット」

<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/31730>

Ⅱ 第3次基本計画の概要と施策推進状況

1 第3次基本計画の概要

- 計画期間 令和3年度から令和7年度までの5年間
- 基本目標 「生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに」
- 施策の4つの柱
 - 1 家庭における読書活動の推進
 - 2 学校における読書活動の推進
 - 3 地域・職場における読書活動の推進
 - 4 関係機関等との協働による読書活動の推進

代 表 指 標	■各世代を通じて「読書が好きだ」と答える県民の割合 ：(R7) 80%以上
	■各世代を通じて1日30分以上読書をしている県民の割合 ：(R7) 70%以上

2 施策推進状況

- 県では、条例に基づき、第1次基本計画（平成23年度～27年度）により、県民の読書活動の推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開した。

また、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。

- 第2次基本計画（平成28年度～令和2年度）では、「家庭」、「学校」、「職場」、「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開し、読書環境の整備としてスーパーやコミュニティスペースなど県民の身近な所に図書コーナーを設置する取組や、人づくりとして読書活動に携わるボランティアの育成等を進めた。

また、県公式ウェブサイトやSNS等を活用して読書に関する様々な情報を発信し、県民の読書意欲を喚起した。

- 第3次基本計画（令和3年度～7年度）では、読書は習慣付けが重要であることから、特に子どもの読書活動を積極的に推進するとともに、県民のライフステージ等に応じて、勉学、仕事、余暇活動など生活の様々な場面で気軽に読書をすることができる環境を整備するなど、基本目標である「生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに」の達成に向けた施策を展開している。

Ⅲ 読書活動推進のための施策

1 家庭における読書活動の推進

(1) 県立図書館の利用促進に向けた体制の整備

① 各世代に対応した読書環境の整備

「子育て情報コーナー」、「えほんのへや」、小学生向け「調べ学習コーナー」、中高生向け「teens' コーナー」、「シニアコーナー」を整備し、各世代の読書の幅を広げ、図書館利用を促進した。「えほんのへや」では月替わりで絵本展示を行ったほか、4月には「本で広がる世界」と題したteens' 資料紹介ミニ展示を行った。

❖参考DATA

県立図書館の年間購入冊数：(R6) 13, 588冊

県立図書館の新規登録者数：(R6) 1, 505人

県立図書館の年間個人貸出冊数：(R6) 348, 905冊



▲えほんのへや絵本展示



▲調べ学習コーナー



▲生活支援コーナー(シニア)

② 県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

県民の多様な読書ニーズに対応するため、各分野の参考資料等の充実を図ったほか、カウンター窓口、電話、メール等で寄せられるレファレンスに的確に対応できるよう、職員研修を実施し体制の整備を図るなど、レファレンス・サービス機能の強化に努めた。また、ホームページで実際のレファレンス事例を紹介する等、サービスの周知に努めた。

※レファレンス・サービス

図書館で、資料・情報を求める利用者に対して行われる文献の紹介・提供等のサービス。

❖参考DATA

「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合

: (R6) 57. 5%

「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合

: (R6) 90. 7%

③ 「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」の活用促進

県内7施設が所蔵している資料等の情報を「秋田県立図書館デジタルアーカイブ※1」により一元的に検索できるようアップロードを進め、県民への情報提供サービスを行った。令和7年1月30日からは「秋田県／図書館・公文書館・文学資料館デジタルアーカイブ※2」として、3施設の所蔵資料を横断的に検索できるデジタルアーカイブシステムにリニューアルした。

※1 秋田県立図書館デジタルアーカイブ（R7.1.29まで）

県立図書館、あきた文学資料館、博物館、近代美術館、埋蔵文化財センター、生涯学習センター、公文書館の全7施設が所蔵する資料の目録や画像情報を一元的に検索できるポータルサイト。

秋田県立図書館デジタルアーカイブ▶



※2 秋田県／図書館・公文書館・文学資料館デジタルアーカイブ（R7.1.30から）

県立図書館、県公文書館、あきた文学資料館の3施設が所蔵する資料の目録や画像情報を一元的に検索できるポータルサイト。

秋田県／図書館・公文書館・文学資料館デジタルアーカイブ▶



❖参考DATA

「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」（R7.1.29まで）

登録データ数（累計）：（R6）618,077件

閲覧件数：（R6）43,793件

「秋田県／図書館・公文書館・文学資料館デジタルアーカイブ」（R7.1.30から）

登録データ数（累計）：（R6）615,029件

閲覧件数：（R6）40,190件

④ ウェブサイトやSNSを活用した情報発信

県立図書館の利用促進を図るため、図書館のサービスやイベント等の情報をウェブサイトやFacebookを活用して定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

また、秋田県立図書館YouTubeチャンネルでは、「本を上手に探すコツ」や「えほんのへやのご案内」等、8本の利用案内動画を公開している。

❖参考DATA

県立図書館ウェブサイトのアクセス数：（R6）255,176件

県立図書館Facebookページのフォロワー数：（R6）206人



◀県立図書館Facebookページ



▲YouTubeチャンネルでの動画配信

(2) 子どもの読書習慣づくり

県立図書館では「えほんのへや」や「調べ学習コーナー」のほか、「県子ども読書支援センター※」を設置し、子どもの読書習慣づくりを支援している。

「えほんのへや」では、季節に合わせた月替わりの絵本を展示・貸出するとともに、県子ども読書支援センター支援員（読書ボランティア）による絵本の読み聞かせを行う「おはなしタイム」を毎月第1・3日曜日に開催した。

また、子どもの読書に関する相談を「おはなしタイム」開催時や毎週木曜日に受け付け、訪れた親子にお薦めの絵本を紹介するなど積極的に対応した。

こども家庭庁が実施している「こどもまんなかアクション」の一環として取り組んでいる「すこやか読書応援タイム※」を継続実施し、子どもや子育て中の方が気兼ねなく利用できる環境づくりに努めた。

※県子ども読書支援センター

子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。「えほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、幼稚園・保育所・認定こども園等を対象に読み聞かせ資料の貸出し等も行っている。

※すこやか読書応援タイム

毎月第1・3日曜日 正午～午後5時

❖参考DATA

読書相談件数：（R6）361件

おはなし会実施回数：（R6）25回

おはなし会参加人数：（R6）498人



◀おはなしタイム



▶すこやか読書
応援タイム

(3) 児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センターが県児童会館図書室に児童書の貸出しを行ったほか、子ども読書アドバイザーが定期的に県児童会館図書室の運営に関する相談等の支援を行い、子どもの読書に親しむ環境の整備を行った。

◆参考DATA

資料貸出冊数：(R6) 407冊

(4) 読み聞かせにお薦めの絵本の紹介

親子の読み聞かせを通じて読書の楽しさを広げるため、0歳から小学校低学年までの児童を対象とした読み聞かせに適した絵本を選定し、「あふれちゃんのえほんばこ」として推奨するとともに、毎週土曜日の秋田魁新報読書欄やあきたの結婚・子育て応援情報ウェブサイト「いっしょにねっと。」、Instagram「いっしょにこそだてあきた」や「あきたブックネット」等で紹介したほか、県児童会館の図書室で選定絵本の貸出しを行った。



▲県児童会館2F図書室で
貸出しを行っている絵本



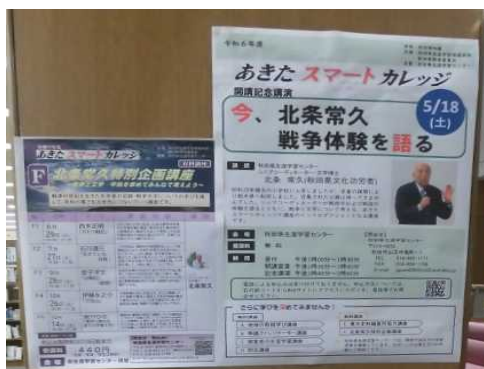
▲あふれちゃんのえほんばこ2024

(5) 生涯学習としての読書活動の奨励

県民の総合的な生涯学習講座「あきたスマートカレッジ」の中で、「北条常久特別企画講座」（全5回）を開催し、テーマに沿った作品を紹介するとともに、県立図書

館にコーナーを設けてもらうなど、連携した取組も行った。

また、講座受講者が中心となって運営している自主学习グループが、読書に関する講座を開催した。



▲ 県立図書館の特設コーナー

(6) 高齢者などへの読書支援

「大活字本コーナー」では、小さな活字が読みづらい方のために、大きな活字（大活字）で書かれた本を置いているほか、拡大鏡、老眼鏡、リーディングルーペ等の館内貸出しも行っている。

また、インターネット環境がない高齢者等であっても「ふるさと秋田文学賞」の受賞作品を読むことができるよう、作品本文のコピーを郵送するサービス（送料は本人負担）を行い、3件の利用があった。

活字による読書が困難な高齢者等をサポートするボランティア活動は、リピーターが定期的に利用するなど、一定の需要がある。

(7) 「あきたブックネット」（ウェブサイト、SNS）による情報発信

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、X（旧Twitter）やウェブサイトを活用し、公立図書館及び書店等の取組を取材した「まち&BOOKS」や、本に関連した特長のある取組を行っている「まちなかBOOKリーダー」を発信したほか、秋田県議会議員や各分野で活躍している人の「私の一冊」を紹介した。

また、読書に関する様々な情報を随時X（旧Twitter）で提供し、県民の意識啓発や関係機関との連携を図った。



▲本に関連したお店の取組を
X（旧Twitter）で紹介



▲公立図書館・書店等の取組を
X（旧Twitter）で紹介

秋田県ブックリーダーによる「私の一冊」【県議会議員 編】

コンテンツ番号：60120 更新日：2024年11月01日

秋田県では地域読書活動の牽引役として県議会議員を「秋田県ブックリーダー」とし、「私の一冊」を紹介いただいています。

※それぞれの写真をクリックしてご覧ください。



【掲載は五十音順】

 石田 克 議員	 宇佐見 康人 議員	 小堀 太 政之 議員	 小塚 正晃 議員
--	--	---	---

▲秋田県ブックリーダーによる「私の一冊」

❖参考DATA

X（旧Twitter）「あきたブックネット」のアクセス数：（R6）214, 379件

2 学校における読書活動の推進

(1) 幼稚園、保育所、認定こども園等

幼稚園、保育所、認定こども園等における読み聞かせの促進

幼稚園、保育所、認定こども園等の訪問時において、教材としての「絵本」の意義の確認のほか、子どもが喜んで「絵本」に関わるための環境の構成や援助の在り方のサポートなど、各施設の状況に応じた指導・助言を行った。

また、新規に採用された保育士等を対象に、絵本のもつ役割や読み聞かせへの理解を深められるよう、子どもの発達や興味・関心に応じた意図のある選書、絵本に込められた作者・画家の思いや背景を理解する必要性、子どもにとっての絵本の読み聞かせが生み出す効果や重要性等を学ぶ研修を実施した。

○新規採用者研修

開催日 令和6年11月12日（火） 総合教育センター

講師 田丸 美穂氏（県子ども読書支援センター・子ども読書アドバイザー）

参加者数 146名

❖参考DATA

新規採用者研修受講者の肯定的評価：（R6）95.9%

(2) 小学校、中学校、高等学校等

① 子どもの発達の段階に応じた読書活動の推進

ア 小・中学校における取組

教科等の学習における学校図書館の活用や教育活動における読書活動の充実が図られるよう、学校訪問等により指導・援助を行った。

また、学校司書による図書館ガイダンスの実施、ボランティアや児童会図書委員による定期的な読み聞かせ、全校ビブリオバトルの開催等、児童・生徒の発達の段階に応じた読書活動の推進に関わる先進的な取組について情報提供を行うことで、各学校での読書活動を支援した。

❖参考DATA

<令和6年度秋田県学習状況調査>

「読書が好き」と答える児童の割合（小学校6年生）：（R6）73.9%

週に1回以上学校図書館等に行く児童の割合（小学校6年生）：（R6）12.7%

イ 高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会※の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習等において、絵本の読み聞かせの実習を奨励するなど、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをする意義について理解を深める取組を行った。

図書館活性化モデル校の先進的な取組について、協議会等で情報共有を図るとともに、学校訪問の機会に情報提供を行い、各校の読書活動を支援した。

※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

❖参考DATA

1か月に1回以上学校図書館を利用する生徒の割合：(R6) 25.7%

1か月に本を1冊以上読む生徒の割合：(R6) 57.0%

ウ 特別支援学校における取組

児童生徒が自分から本に興味をもつような読書環境や読書活動の充実に向けて、学校訪問等で読書活動の大切さや意義について情報提供した。

各校では、読書感想文・絵画コンクールの実施や、図書委員が新刊やお薦め本のポスターを作成・掲示をするなど、本や絵本に親しむ取組を行った。

また、定期的に全校読書タイムを設けたり、タブレット型端末を使ってデジタルのアプリを入れて利用できるようにしたりなどの工夫をしている学校もあり、児童生徒が本に触れる機会を作っている。



▲ 紹介コーナー：
お薦め図書の展示

❖参考DATA

校内の読書環境の整備と改善に毎月取り組んでいる学校の割合：(R6) 85.7%

図書を活用した他の学校や地域の人々との交流により、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合：(R6) 32.1%

② 「ビブリオバトル」の普及と大会開催

中高生を対象に、コミュニケーションによって本の面白さや魅力を共有し、読書のきっかけづくりとするため、発表者（バトラー）が紹介したお薦め本の中から、「一番読みたくなった本（チャンプ本）」を参加者全員の投票で決める「ビブリオバトル」を行った。

10月から11月にかけて県内7か所で開催し、11月30日に地区大会を勝ち

抜いた生徒たちによる県大会を開催した。いずれの大会でも発表者（バトラー）と参観者との活発なディスカッションにより盛り上がりを見せ、県大会参観者を対象としたアンケートでは「読みたい本が増えた」「どれも興味深く一冊に決めるのに迷った」「バトラーの本の理解の深さ、知識の幅、表現力に驚かされた」「楽しそうに話すバトラーの姿に本の魅力を感じた」「とても楽しい大会で、ぜひ続けてほしい」などの好意的な意見が多く寄せられた。

さらに、11月3日に開催された読書の杜トークライブでは前年度の優勝者がビブリオバトルへの思いを語ったり、県大会の様子を生涯学習課のYouTubeチャンネルで配信したりすることで、読書活動の推進とビブリオバトルの更なる周知に努めている。



▲ビブリオバトル秋田県大会に出場した中高生バトラー



▲読書の杜トークライブ
(前年度優勝者のステージ登壇)



◀ 美の国あきたネット内「ビブリオバトル in AKITA」
(<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/61788>)

○開催状況

〈地区大会〉 出場者合計 79名（中学生45名、高校生34名）

地区	月日	会場	出場者数
北鹿	10月26日（土）	大館市立中央公民館	中学生 3名、高校生 4名
能代	11月 2日（土）	能代市立能代図書館	中学生 8名、高校生 5名
秋田	10月19日（土）	ふれあーるAKITA	中学生 7名、高校生 13名
由利本荘	10月 6日（日）	由利本荘市文化交流館カダーレ	中学生 2名、高校生 1名
大仙	10月27日（日）	大仙市大曲交流センター	中学生 8名、高校生 3名
横手	10月26日（土）	横手市生涯学習館Aona	中学生 8名、高校生 5名
湯沢	11月 9日（土）	湯沢市役所	中学生 9名、高校生 3名

〈秋田県大会〉 11月30日（土） 秋田拠点センターアルヴェ

各地区大会代表の14名（中学生7名、高校生7名）が出場

中学生チャンプ、高校生チャンプは、ビブリオバトル全国大会（活字文化推進会議主催）への出場権を獲得

○ビブリオバトル 2024 in AKITA（秋田県大会）で紹介された本

【中学生の部】

- 「死んだ山田と教室」（金子 玲介／著 講談社）**チャンプ本**
「アリアドネの声」（井上 真偽／著 幻冬舎）**準チャンプ本**
「私の命はあなたの命より軽い」（近藤 史恵／著 講談社／講談社文庫）
「小さい“つ”が消えた日」（ステファノ・フォン・ロー／著 三修社）
「変身」（フランツ・カフカ／著 新潮社／新潮社文庫）
「ゴリラ裁判の日」（須藤 古都離／著 講談社）
「ハッピーバースデー 命かがやく瞬間」（青木 和雄／著 金の星社）

【高校生の部】

- 「死んだ山田と教室」（金子 玲介／著 講談社）**チャンプ本**
「#真相をお話します」（結城 真一郎／著 新潮社／新潮社文庫）**準チャンプ本**
「嫌われる勇気」（岸見 一郎、古賀 史健／著 ダイヤモンド社）
「ゴールデンスランバー」（伊坂 幸太郎／著 新潮社／新潮社文庫）
「図書館の大魔術師（1）」（泉光／著 講談社）
「アンドロイドは電気羊の夢を見るか？」
（フィリップ・K・ディック／著 早川書房）
「僕たちの幸せな記憶喪失」（春田 モカ／著 スターツ出版）

（３）学校図書館

① 学校図書館の活性化支援

ア 学校訪問による読書活動支援

小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校合わせて16校の学校図書館を訪問し、学習活動の支援の在り方や校内の推進体制について指導・助言を行うとともに、特徴的な実践例の紹介や改善のための情報提供を行った。

イ 担当教職員等への研修による支援

小・中・高等学校の司書教諭や学校司書等を対象とした研修会に読書活動指導監等を派遣し、研修支援を行った。

② 県立図書館の学校図書館等への支援

ア 学校図書館の環境整備と研修機会の提供

学校図書館支援用の図書セット資料について、高等学校・特別支援学校の図書担当者からリクエストを受けて更新を行い、児童・生徒の読書環境を整備したほか、生徒の学習等に必要な図書の貸出しリクエストにも個別に応じた。

また、学校図書館の担当職員・図書委員に向けた研修を行うなど、学校図書館の活用が進むよう継続した支援を行った。

○学校図書館職員等研修会

開催日 令和6年7月31日（水）オンラインでの開催

内 容 「本の魅力と可能性 ～人と人、人と本をつなぐ手段を学び合おう
～」、参加校の情報交換
参加者数 教職員・生徒合計 19名

❖参考DATA

学校図書館への年間貸出冊数：（R6）18,871冊



▲学校図書館用セット資料



▲学校図書館職員等研修会

イ 図書館利用と読書への興味・関心を高める取組

小・中・高等学校、特別支援学校のセカンドスクールの利用※は、児童・生徒に対し、図書館の仕事や役割についての理解を深めるとともに、読書に対する関心を高める取組を行った。

また、特別支援学校を対象に、児童・生徒が密を避けた環境で気兼ねなく図書館を利用することで読書への意欲を高め、将来の図書館利用の基礎を学ぶことができるよう「休館日を活用した図書館見学」を継続実施した。

※セカンドスクールの利用

児童・生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業で、図書館においては、図書館職員の仕事の体験を行う。

❖参考DATA

「セカンドスクールの利用等の取組に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合

：（R6）87.0%

「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合

：（R6）95.7%



▲セカンドスクールの利用（職場体験）



▲作成した本の紹介POP

3 地域・職場における読書活動の推進

(1) 市町村

① 市町村立図書館等の機能の充実に向けた支援

ア 資料貸出しや情報提供による支援

県立図書館では、市町村立図書館等からの予約資料の貸出しに対応したほか、テーマ展示等に活用できる図書セット資料を提供することで、住民の図書館利用や読書活動を支援した。

また、市町村立図書館等を訪問して図書館運営・サービスに関する相談への助言等を行った。

❖参考DATA

市町村立図書館等の年間個人貸出冊数：（R6）2,134,708冊

市町村立図書館等への年間貸出冊数：（R6）17,510冊

市町村立図書館等の相談件数：（R6）89件



▲セットを活用した図書館内の展示▲

イ 市町村立図書館等職員の育成

集合研修では、初任者研修のほか、読書バリアフリー、図書館の危機管理等、社会の変化やニーズに対応したテーマで研修を行った。

派遣研修では、資料の収集と蔵書構成、レファレンス・ツール、ブックトークの仕方等のメニューを用意し、市町村立図書館からの要望に応じて実施した。

❖参考DATA

「満足した」と答える参加者の割合：（R6）99.4%



▲ 初任者研修会：児童サービス
（読み聞かせの実演）



▲ 市町村立図書館等職員研修会

ウ 課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館や市町村立図書館等において、ビジネス、健康や介護、法律など生活や仕事に関する課題のほか、地域課題の解決に向けた資料整備を行うとともに、関係機関のパンフレットを提供することなどにより、関連コーナーの充実を図った。

また、市町村立図書館等に対し、他館で実施されている課題解決支援サービスについての情報提供を行った。



▲ 県立図書館閲覧室内にある
「ビジネス支援コーナー」

❖ 参考 DATA

「取組を知っている」と答える利用者の割合：（R6）74.2%

「取組に満足している」と答える利用者の割合：（R6）86.1%

市町村立図書館等のサービス実施館数：（R6）56館

② 「子ども読書の日」の周知と取組の推進

4月23日の「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設等に配付して周知を図るとともに、各市町村に対し「子どもの読書週間」における子どもが読書に親しむイベントの実施を働き掛けた。



2024年度「子ども読書の日」ポスター▶

※子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日が「子ども読書の日」と定められている。

これは、シェイクスピア（イギリス）とセルバンテス（スペイン）の命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることにちなむ。

❖参考DATA

実施市町村数と取組件数：（R6）20市町村136件

（2）民間団体

① 読書ボランティア等への支援

市町村立図書館や学校図書館等において、読み聞かせ等を行うボランティアを養成するための研修を県内3地区で実施した。

各地域で活動している読み聞かせボランティアを講師に迎えることで、講座修了後の参加者の活動についてサポートできるようにした。

高校生63名のほか、一般の参加者には実際に読み聞かせ活動をしている方もおり、これから子どもの読書活動を推進していく若い世代の養成と、既に子どもの読書活動に携わっている方々の読み聞かせ技術の再確認やスキルアップの機会となった。

また、受講後の活動に役立てられるよう、0歳から小学校低学年までの子どもへの読み聞かせに適した絵本を紹介したリーフレット「あふれちゃんのえほんばこ」

（県次世代・女性活躍支援課作成）を講師と受講者に配付し、併せて県子ども読書支援センターの利用について案内した。

○読み聞かせボランティア養成講座

地区	月日	会場	参加者数
県北	8月3日（土）・4日（日）	北秋田市民ふれあいプラザ・コムコム	22名
県央	8月4日（日）・5日（月）	秋田県立図書館	22名
県南	8月5日（月）・6日（火）	横手市交流センターY ² ぷらざ	48名



▲県北地区



▲県央地区



▲県南地区

読み聞かせボランティア養成講座の様子

② 読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターからボランティア団体等へ資料を貸し出した。

❖参考DATA

県立図書館からボランティア団体等への資料貸出し：（R6）857冊

県子ども読書支援センターからボランティア団体等への資料貸出し

：（R6）6,052冊



▲子ども読書支援センター資料



▲読み聞かせ資料（大型絵本）

4 関係機関等との協働による読書活動の推進

(1) 秋田県読書活動推進連絡協議会の開催

「秋田県読書活動推進連絡協議会」の全体会を開催し、県民の読書環境の充実に向けた意見交換や優良事例の共有を行い、県と市町村が協働して地域における読書活動の推進に取り組んだ。

○令和6年度秋田県読書活動推進連絡協議会の概要

- | | | |
|------|-----|--|
| [構成] | 市町村 | 企画担当課長、教育委員会読書活動推進担当課長 |
| | 県 | 文化振興課長、教育庁総務課長、生涯学習課長 |
| [活動] | 全体会 | 令和6年11月5日(火) 書面開催 |
| [役員] | 会長 | 文化振興課長 |
| | 副会長 | 大館市生涯学習課長、にかほ市立図書館こびあ館長、
羽後町立図書館長(任期2年) |

(2) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進

① 視覚障害者等の図書館利用に係る体制の整備

県立図書館内の読書バリアフリー環境の整備を進めるため、マルチメディアデージー図書※、LLブック※、さわる絵本、点字絵本、大活字本等を整備し関連資料の充実を図った。

また、サピエ図書館※を活用し、視覚障害のある方や活字による読書が困難な方に対するサービスの拡大を図った。

※デージー図書

デージー(DAISY)とは、「Digital Accessible Information System」の略で、デジタル録音図書の国際標準規格のこと。デージー図書は、通常の印刷物を読むことが困難な視覚障害者等を対象に、カセットテープに代わるものとして、この規格により開発されたデジタル録音図書。

※LLブック

簡単な言葉や絵・写真を多く使ったやさしく読みやすい本

※サピエ図書館

全国視覚障害者情報提供施設協会が運営。インターネットを通して、点字図書や録音図書をダウンロードして読むことができる。

❖参考DATA

「障害者サービスを知っている」と答えた利用者の割合：53.5%

障害者サービス利用登録者数(累計)：(R6)3人



▲県立図書館閲覧室内のバリアフリーコーナー



▲読書バリアフリー研修会
(オンライン開催)

② 視覚障害者等の秋田県点字図書館の利用に係る体制の整備

障害者の読書機会の充実を目指して、県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障害者への図書提供サービスの向上に努めた。

❖参考DATA

点字図書・音声図書等の製作数・貸出数（R6）

製 作	点字図書	: 129タイトル	音声図書	: 166タイトル
貸 出	点字図書	: 341タイトル	音声図書	: 5,886タイトル
	定期刊行物	: 8,789タイトル		

（３）大学図書館と県立図書館の連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館（秋田大学・秋田県立大学・国際教養大学）との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

また、オンライン会議システムを活用して各施設の情報や最新の話題等を共有し、相互に情報交換を行った。

❖参考DATA

大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数：（R6）	251冊
大学図書館との相互貸借の年間借受冊数：（R6）	28冊

（４）県内の大学等との連携

大学生等の読書への興味・関心を高めるため、県内の各高等教育機関に向けて、読書関係のイベントや文芸公募事業のチラシを送付した。

（５）外部機関等と連携した図書館利用促進

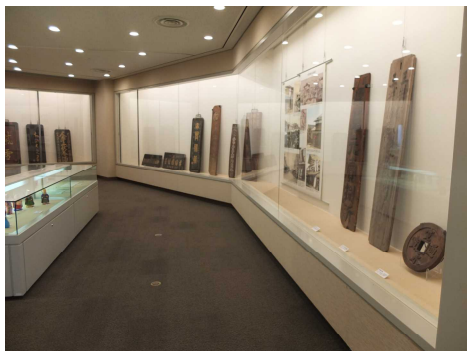
県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示等を行った。

また、県立図書館の所蔵する資料が、県立図書館以外でも利用できるよう連携先の団体へ貸出しを行い、県立図書館コーナーの設置や定期的な図書の展示等を行った。

❖参考DATA

外部機関等への貸出冊数：（R6）2,778冊

イベントの開催回数：（R6）41回



▲埋蔵文化財センターと連携した特別展示



▲県議会図書室への貸出し・展示

（6）「県民読書の日」の啓発

○「第11回ふるさと秋田文学賞」の実施

県民の読書に親しむ気運を高めるため、11月1日の「県民読書の日」記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」を実施し、受賞作品集を刊行した。

●受賞作品

【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

彩生の祈り

北原 岳（愛知県名古屋市）

《同 佳作》

星をあつめて

矢部 郁（東京都八王子市）

【エッセイ・紀行文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

男鹿っ子ナマハゲ論

笹 リン（神奈川県相模原市）

《同 佳作》

学校

鹿住 敏子（埼玉県白岡市）



第11回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▲

●応募状況

応募作品数 155点

（小説86点 エッセイ・紀行文69点、県内59点 県外96点）

受賞作品はウェブサイト「あきたブックネット」上にPDFで掲載したほか、特設サイト「let's be 読書の杜あきた」上では、受賞作品を電子ブック形式で掲載し、より多くの県民が閲覧できるようにした。

また、秋田をテーマとするこの賞にちなみ、県立図書館で6月6日から7月9日まで

で、作品で取り上げられた観光地のポスターや市町村観光パンフレットと共に、受賞作品のパネルや選考委員の著作物等を展示した。



◀県立図書館との連携展示

〇トークライブイベントの実施

「県民読書の日」に合わせた11月3日、雑誌への書評連載を手がけるなど読書に造詣が深いタレントの箕輪はるかさんをゲストに迎え「読書の杜トークライブ」を開催した。

なお、トークライブイベントに参加できなかった県民のために、イベント中は特設サイト「let's be 読書の杜あきた」でその様子を動画配信し、イベント終了後は、新聞紙上や特設サイト上にその概要を掲載した。

また、イベント会場では、県の取組や秋田ゆかりの本の紹介のパネル展示のほか本の交換会ブースを設置するなど、読書に関する多様な催事を行った。



▲読書の杜トークライブ



▲県の取組を紹介したパネル展示

❖参考DATA

「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合：（R6）72.8%

（7）「秋田県読書フェスタ」の開催

11月1日の「県民読書の日」を含む10月5日（土）から11月10日（日）までの約1か月間を「秋田県読書フェスタ」期間とし、県主催事業として中学生・高校生ビブリオバトル大会等を開催した。

そのほか、市町村の図書館・公民館等では、子どもから大人まで幅広い世代の県民

が読書に親しむ機会をもてるよう、工夫を凝らした図書展示や選書体験、外国語での読み聞かせ、本や雑誌のリサイクルなど様々な読書イベントが行われた。

❖参考DATA

実施市町村数と取組件数：（R6）18市町村254件

（8）県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及

子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から寄贈された絵本や児童書を手入れした上で、配付を希望する保育所や児童クラブ等へ届け、読書の楽しさをリレーする取組を行った。



「読んだッチ・リレー文庫」のポスター→

❖参考DATA

リサイクル文庫の設置先数（累計）：（R6）1,028か所

（9）高齢者への読書活動推奨

X（旧：Twitter）「あきたブックネット」上で読書のバリアフリーに関する情報提供を行った。

❖参考DATA

「1日平均30分以上読書をしている」と答える70歳以上の割合：（R6）49.0%

（10）書店団体等と連携した読書活動の推進

○「読書活動リトライキャンペーンの実施」

リトライイベントの開催に合わせ、「音楽」に関連した書籍や資料を集めて紹介するキャンペーンを、県内の書店・図書館と連携し実施した。アーティストの著作や関連CD等、音楽を入口とした読書の楽しみ方を提案し、読書活動への関心を喚起した。



▲書店での読書キャンペーン

（11）雑誌スポンサー制度の充実

民間企業等が雑誌スポンサー※となって、県立図書館や市町村立図書館へ雑誌の提

供を行い、雑誌コーナーの充実を図った。また、県立図書館では各スポンサー企業の専門的な知識を生かして図書館資料を選定していただいた。

※雑誌スポンサー

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした雑誌寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購入費を負担する。対象となる雑誌に専用カバーを取り付け、スポンサーとなっている企業名や広告を表示するなどの方法で、企業活動を図書館利用者に周知することができる。

❖参考DATA

公立図書館（県立図書館・市町村立図書館等）のスポンサー企業数：（R6）82企業



▲雑誌コーナー



▲雑誌スポンサーが選書した
資料の紹介展示

(12) 読書活動の機運を高めるイベント等の実施

○「読書活動リトライイベント」の実施

仕事や家事等により読書と疎遠になっている県民に対し、気軽に読書を楽しめるよう「聴く読書」をコンセプトにしたイベントを実施した。ピアニストの五条院凌さんをゲストに迎え、文学作品で取り上げられている音楽の演奏により、作品の世界観を表現したほか、会場内にオーディオブックの試聴コーナーを設置し、新たな読書の楽しみ方を提案した。



▲聴く読書会

○「あきたレビュー大賞2024」の実施

県民の読書に向かう機運を高めるため、書評を募集し、優秀な作品を表彰する「あきたレビュー大賞2024」を実施し、県内書店等の協力を得て、募集の広報や受賞作品の周知を行った。

受賞作品は選考委員の講評とともに新聞紙上に掲載したほか、「あきたブックネット」及び特設サイト「let's be 読書の杜あきた」にも掲載するなど、様々な方法によって周知をすることにより、読書意欲の喚起を行った。



▲あきたレビュー大賞2024書評募集チラシ



▲受賞作品の新聞広告

5 指標・実績一覧

	施 策	効果測定項目	R2基準値	R6実績値	R7目標値	ページ
1	各世代に対応した読書環境の整備	県立図書館の年間購入冊数	(R元) 14,063冊	13,588冊	15,000冊	3
2		県立図書館の新規登録者数	(R元) 2,067人	1,505人	2,300人	3
3		県立図書館の年間個人貸出冊数	(R元) 361,658冊	348,905冊	400,000冊	3
4	県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	(R元) 53.1%	57.5%	60.0%	3
5		「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	(R元) 84.0%	90.7%	90.0%	3
6	「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」の活用促進	登録データ数（累計）	(R元) 605,687件	618,077件	615,000件	4
7		閲覧件数	(R元) 33,557件	43,793件	40,000件	4
8	ウェブサイトやSNSを活用した情報発信	県立図書館ウェブサイトのアクセス数	(R元) 235,195件	255,176件	270,000件	4
9		県立図書館Facebookページのフォロワー数	(R元) 118人	206人	500人	4
10	子どもの読書習慣づくり	読書相談件数	(R元) 332件	361件	350件	5
11		おはなし会実施回数	(R元) 23回	25回	24回	5
12		おはなし会参加人数	(R元) 663人	498人	720人	5
13	児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	(R元) 593冊	407冊	1,000冊	6
14	高齢者などへの読書支援	電話（対面）朗読ボランティア活用者実数	(R元) 22人	1人	50人	7
15	「あきたブックネット」による情報発信	X（旧Twitter）「あきたブックネット」のアクセス数	(R元) 1,510,644件	214,379件	2,100,000件	8
家庭における読書活動の推進 計 15 項目						
16	幼稚園、保育所、認定こども園等における読み聞かせの促進	新規採用者研修受講者の肯定的評価	90.0%	95.9%	93.0%	9
17	小・中学校における取組	「読書が好き」と答える児童の割合（小学校6年生）	(R元) 82.0%	(73.9%)	82.0%	9
18		「読書が好き」と答える生徒の割合（中学校3年生）	(R元) 76.6%	調査中止	80.0%	-
19		週に1回以上学校図書館等に行く児童の割合（小学校6年生）	(R元) 23.9%	(12.7%)	30.0%	9
20		週に1回以上学校図書館等に行く生徒の割合（中学校3年生）	(R元) 7.6%	調査中止	20.0%	-
21	高等学校における取組	1か月に1回以上学校図書館を利用する生徒の割合	20.1%	25.7%	40.0%	10
22		1か月に本を1冊以上読む生徒の割合	61.4%	57.0%	70.0%	10
23	特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に毎月取り組んでいる学校の割合	(R元) 73.0%	85.7%	95.0%	10
24		図書を活用した他の学校や地域の人々との交流により、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合	(R元) 60.0%	32.1%	95.0%	10
25	学校図書館の環境整備と研修機会の提供	学校図書館への年間貸出冊数	(R元) 18,169冊	18,871冊	20,000冊	13
26	図書館利用と読書への興味・関心を高める取組	「セカンドスクールの利用等の取組に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	(R元) 90.2%	87.0%	100.0%	13
27		「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合	(R元) 100.0%	95.7%	100.0%	13
学校における読書活動の推進 計 12 項目						

※ 17「読書が好き」と答える生徒の割合（小学6年生）、19 週に1回以上学校図書館等に行く児童の割合（小学校6年生）は 参考値。（国調査がR2で終了したため、同じ内容の県調査から引用）

	施 策	効果測定項目	R2基準値	R6実績値	R7目標値	ページ
28	資料貸出しや情報提供による支援	市町村立図書館等の年間個人貸出冊数	(R元) 2,371,796冊	2,134,708冊	2,500,000冊	14
29		市町村立図書館等への年間貸出冊数	(R元) 21,319冊	17,510冊	23,000冊	14
30		市町村立図書館等の相談件数	(R元) 125件	89件	220件	14
31	市町村立図書館等職員の育成	「満足した」と答える参加者の割合	(R元) 98.3%	99.4%	100.0%	14
32	課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	(R元) 65.5%	74.2%	80.0%	15
33		「取組に満足している」と答える利用者の割合	(R元) 64.0%	86.1%	80.0%	15
34		市町村立図書館等のサービス実施館数	(R元) 56館	56館	60館	15
35	「子ども読書の日」の周知と取組の推進	実施市町村数と取組件数	25市町村 176件	20市町村 136件	25市町村 200件	16
36	読み聞かせ団体等への活動支援	県立図書館からボランティア団体等への資料貸出	(R元) 713冊	857冊	800冊	17
37		県子ども読書支援センターからボランティア団体等への資料貸出	(R元) 5,648冊	6,052冊	6,000冊	17
38	企業内文庫の普及啓発	「1日平均30分以上読書をしている」と答える20～60歳代の割合	40.7%	37.4%	70.0%	-
地域・職場における読書活動の推進 小計 1 1 項目						
	施 策	効果測定項目	R2基準値	R6実績値	R7目標値	ページ
39	視覚障害者等の図書館利用に係る体制の整備	「障害者サービスを知っている」と答える利用者の割合	-	53.5%	50.0%	18
40		障害者サービス利用登録者数（累計）	-	3人	50人	18
41	視覚障害者等の秋田県点字図書館の利用に係る体制の整備	図書の製作数	(R元) 294タイトル	295タイトル	350タイトル	19
42		図書の貸出数	(R元) 7,408タイトル	6,227タイトル	7,700タイトル	19
43	大学図書館と県立図書館の連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	(R元) 303冊	251冊	350冊	19
44		大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	(R元) 52冊	28冊	60冊	19
45	外部機関等と連携した図書館利用促進	外部機関等への貸出冊数	(R元) 1,388冊	2,778冊	1,500冊	20
46		イベントの開催回数	(R元) 61回	41回	60回	20
47	「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	(R元) 84.8%	72.8%	90.0%	21
48	「秋田県読書フェスタ」の開催	実施市町村数と取組件数	21市町村 197件	18市町村 254件	25市町村 200件	22
49	県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	リサイクル文庫の設置先数（累計）	(R元) 853か所	1,028か所	1,050か所	22
50	高齢者への読書活動推奨	「1日平均30分以上読書をしている」と答える70歳以上の割合	56.6%	49.1%	70.0%	22
51	雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館（県立図書館・市町村立図書館等）のスポンサー企業数	(R元) 80企業	82企業	90企業	23
関係機関等との協働による読書活動の推進 計 1 3 項目						